

第3学年

総合的な学習の時間

しぜんとともににくらそう(1) (単元計画/全 60 時間)

平成 28 年 9 月 14 日(水) 第5校時

杉並区立西田小学校 第3学年4組 27名

授業者/ 望月 悠平

昆虫の多様性に対する理解

校内の環境整備

学習活動①:モンシロチョウと育ち方を比べたい昆虫を決め、育ち方を調べる計画を立てる。(1時間)⑤

学習活動②:すぎなみ環境ネットワークの方にトンボの暮らしや生態について聞く。(1時間)⑥

・プールにはヤゴが住んでいて、毎年排水とともに流されていることを知る。

学習活動③:ヤゴ救出大作戦に取り組む。(2時間)⑤

留意点

- すぎなみ環境ネットワークの方の話を参考に、学習の進め方や計画の立て方を理解し、学習活動④につなげる。

学習活動④:ヤゴ救出大作戦を通して、感じたことを交流する。(1時間)⑤

- 860 匹のヤゴが救出できた。
- アカネ系が多く、ヤンマ系が少なかった。
- 水草を入れたほうが、ヤンマ系がもっと来ると思います。

学習活動⑤:自分が選んだ昆虫の育ち方について調べる。(7時間)⑥

学習活動⑥:調べた昆虫の育ち方についてカードに書き、模造紙にまとめる。(2時間)⑦



ホタルのたまごは地上にあるけど、幼虫になつたら水の中に潜るんだよ!

留意点

- 色画用紙を用いて、たまごから成虫になるまでのすみかを区別し、昆虫によって育つ環境が多様であることに気付かせる。(緑:地上 水色:水中 茶色:地中)

学習活動⑦:調べた昆虫の育ち方を発表し合い、共有する。(2時間)⑧



バッタは卵、幼虫、成虫の順番に育つであります。バッタは草があるところにいて…

- さなぎになる昆虫とならない昆虫がいます。
- 昆虫によって、住む場所が違います。

留意点

- 昆虫によって、育ち方が違うことに気付くと共に、育つ環境(場所、季節など)にも違いがあることに気付かせる。

<発表の観点>・育ち方・すみか・季節など

学びに火をつける

理科(動物のすみかをしらべよう):昆虫などの動物は、それぞれどのような場所にいて、何をしているのか調べる。

・昆虫などの動物は、食べ物のある場所や、隠れる事が出来る場所に多くいることに気付く。

学習活動⑧:西田の環境が昆虫にとって住みよい環境か考える。(1時間)⑨

学習活動⑨:ヤンマお誘いセットを作り、プールに浮かべる。(2時間)⑤



- 留意点**
- 学習活動④であがった課題をもとにして、ヤンマお誘いセット作りに取り組む。

調べる

学習活動⑩:自分が呼びたい昆虫にとって、住みよい環境を考える。(3時間)⑧ 本時

学習活動⑪:校内の樹木や環境を調べる。(1時間)⑨

学習活動⑫:昆虫にとってよりよい環境を作るための計画を立てる。(8時間)⑩



留意点

- すぎなみ環境ネットワークの方と共に、校内樹木調べを行い、呼びたい昆虫の生息環境があるか調べる。

まとめる

学習活動⑬:環境を整備し、環境を持続させるための計画を立てる。(4時間)⑩

・校庭にある池の周りに、植物を植えたプランターを置き、アメンボのすみかとなる環境を整えました。



・カブトムシやクワガタ、コオロギは、やわらかい土をすみかとするので、裏庭の土を耕しました。



留意点

国語(つたえよう、楽しい学校生活):伝えたい目的と内容を明確にして発表メモを作り、発表する。(15時間)

学習活動⑭:2年生に向けて、自分たちが調べてきたことを明確にし、分かりやすい言葉遣いで発表メモを作り、練習する。⑨

学習活動⑮:ESD子供報告会で活動内容を報告する。⑩

- 自分たちが調べてきたこと
- 来年度にお願いしたいこと
- ヤゴ救出活動の継続
- 3年生の整備した環境の確認

留意点

ESDカレンダー